

令和3年度 宮崎支部保険者機能強化予算の執行状況

令和3年度 宮崎支部 医療費適正化予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位：千円)	精算額 (単位：千円)	執行率	実施状況 ※執行率50%以下の理由
医療費適正化対策	企画部門	☑健康保険委員を対象としたジェネリック医薬品使用促進・医療費適正化セミナー	182 (-)	0 (-)	0% ※	※想定し得なかった後発医薬品製薬メーカーによる不祥事案やコロナにより、ジェネリック医薬品の在庫不足が発生。薬剤師会にセミナー開催を打診した所、「現状で使用促進を目的としたセミナーの開催は困難である」との回答を受け、開催を断念したため。
		統計分析データに基づいたジェネリック医薬品使用促進啓発事業	1,848 (1,980)	0 (464)	0% ※	※上記と同様、現状でジェネリック医薬品の使用促進を目的とした勧奨は困難であると判断し、実施しなかったため。また、リーフレットは過年度作成分の在庫で対応することにより、追加作成の必要が無くなったため。
		調剤薬局に対する医薬品リスト配布	957 (957)	443 (253)	46.3% ※	先発医薬品とジェネリック医薬品を紐付けし、医薬品ごとの使用割合等を表示した「医薬品実績リスト」に加え、元年度の宮崎支部ジェネリック医薬品使用状況統計資料を県内薬局に向けて送付 ※一般競争入札により、印刷費用が抑えられた。
広報・意見発信	紙媒体による広報		3,108 (3,075)	1,365 2,214 (1,782) 余った予算のうち849を「フリーペーパー広報」に転用	43.9% ※ 71.2%	○保険証適正使用周知リーフレット作製 ○傷病手当金と年金調整に関する周知用チラシ作製 ○限度額適用認定周知用チラシ作製 ○任意継続被保険者の資格取得申請時の制度周知チラシ・被扶養者の認定基準及び添付書類周知用チラシ作製 ○広報誌「協会けんぽみやざき」作製 ○本部調達封筒裏面広告印刷 ※一般競争入札により、印刷費用が抑えられた。
	その他の広報	「ピンクリボン活動みやざき」参加	20 (20)	20 (20)	100%	「ピンクリボン活動みやざき」への参加イベントは新型コロナウイルス感染症の影響により中止
		新聞を利用した支部事業の広告	4,620 (4,620)	4,263 (3,283)	92.3%	県内占有率60%を超える宮日新聞に①『特定健診受診（半5段）』②『インセンティブ制度（全5段）』③『マイナンバーカードの保険証利用（全5段）』④『資格喪失後受診防止（全5段）』の広告掲載
		フリーペーパーを利用した支部事業の広報	608 (594)	1,457 -849 (572)	239.6% 100%	当初より計画していた「パームス」「きゅんと」に、①『特定健診受診啓発』②③「パームス」「きゅんと」「タウンみやざき」に②『マイナンバーカード保険証機能利用促進』の広告掲載
医療費適正化予算合計			11,343	7,548	66.5%	

* 予算額と精算額の（ ）は、令和2年度の実績

令和3年度 宮崎支部 保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位：千円)	精算額 (単位：千円)	執行率	実施状況 ※執行率50%以下の理由
保健指導経費	保健指導利用勸奨経費	被扶養者に対する保健指導利用勸奨	35 (49)	86 -51 (72)	247.6% 100%	○特定保健指導未利用の対象者に対し、勸奨文書等を送付し勸奨した。 ○令和4年1月より支部保健師による健診結果説明会を17名に実施し、面談数を拡大した。 ○被保険者の事業者健診データ取得後の階層化通知時に保健指導の勸奨を行うため、同リーフレットを活用した。 (被扶養者と被保険者両方で約2,000枚送付)
	その他の保健指導経費	・中間評価時の血液検査費 ・医師謝金 ・保健指導用パンフレット作成等経費 ・保健指導用事務用品費（測定器機器類等） ・保健指導等図書購入費	1,359 (1,444)	819 51 (928) 予算のうち51を「被扶養者に対する保健指導利用勸奨」に転用	60.3% 64.0%	○中間評価時の血液検査を110名に実施 ○保健指導顧問医師・保健指導者のコロナ対策のためのマスクや消毒剤などの購入 ○保健指導者の研鑽のための書籍購入
重症化予防事業経費	未治療者	血圧・血糖の未治療者への受診勸奨	3,520 (5,516)	53 (53)	1.5% ※	文書送付件数： 1768件、電話勸奨件数： 484件 ※当初計上した委託用予算は支部直営に変更したため、使用しなかった。コロナの影響を鑑みてのことであったが、支部で対象者を選定し、支部保健師が勸奨を行ったことで、軌道修正を行いながら、きめ細やかに勸奨できた。
	重症化予防対策	糖尿病性腎症患者の重症化予防対策	1,012 (4,092)	58 (56)	5.7% ※	糖尿病性腎症予防を含むCKD対象者への受診勸奨事業 発送件数： 2146件 ※保健指導外部委託未実施のため。

* 予算額と精算額の（ ）は、令和2年度の実績

令和3年度 宮崎支部 保健事業予算について

分野	区分	取組名	予算額 (単位：千円)	精算額 (単位：千円)	執行率	実施状況 ※執行率50%以下の理由
コラボヘルス事業経費	コラボヘルス事業	健康経営・健康宣言優良事業所認定事業	4,749 (3,188)	3,101 (1,122)	65.3%	<ul style="list-style-type: none"> ○健康宣言勧奨チラシを作成し、健康宣言事業所勧奨を行った結果、130事業所より宣言書の提出 ○健康宣言事業所が目標の450件を超え年度末において459事業所となった。 ○健康宣言事業所に対し健康づくりに関する情報誌提供を年4回送付 ○健康経営事例集を作成し、事例の横展開を行った。 ○経年比較用健康度レポートを送付 ○健康器具を貸し出し、従業員の健康づくりを支援 ○オンライン健康経営セミナーを2回行った。 ○県と連携し、宣言事業所へ支部および県の保健師を派遣
その他の経費	その他の保健事業	■ 女性特有の健康課題に対する加入者および事業所支援	1,895 (-)	654 (-)	34.5% ※	<ul style="list-style-type: none"> ○健康宣言事業所および健康保険委員在籍事業所に対して、令和4年2月22日女性特有の健康課題に対するオンラインセミナーを実施 (申込事業所66、ライブ視聴及びアーカイブ視聴総数は81) ○保健指導者の研修会において、婦人科の医師による女性のライフスタイルについての健康支援の研修を受け、事例検討を実施。 ※オンラインセミナーを、健康保険委員への研修及び健康経営セミナーと併せて行ったため。
		保健事業計画アドバイザー経費	341 (341)	249 (57)	72.9%	宮崎支部生活習慣病予防健診や医療費データを活用した分析等について助言をもらい、学会等への発表を行い、情報発信した。
保健事業予算合計			40,383 (40,347)	17,795 (14,256)	44.1%	
保険者機能強化予算合計			51,726 (51,593)	25,343 (20,630)	49.0%	

* 予算額と精算額の () は、令和2年度の実績